

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **建築士** その仕事や夢を選んだ理由 **小さい時から、安藤忠雄さんに憧れたから!!**

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
 ☆一級建築士の資格 ☆英語などの言語学 ☆学費
 ☆木造建築士の資格 ☆世界を旅する ☆五感を高める

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
11才 12才	小学校 学校の勉強を頑張る。毎日楽しく生きる。英語も!! 色々な建物を見る。教養を身につける! 読書も!!
13才 15才	中学校 学校の勉強を頑張る。語学力を身につける。留学や旅をして世界を見る。読書する。クラブ活動
16才 18才	高校 学校の勉強と受験勉強を頑張る。語学力を身につける。色々な建物を見る。クラブ&学校生活を楽しく。友達と青春
19才 22才	大学 大学に入学する!! 毎日楽しく生きる。読書する!! 2歳からのバレエを続けながら、大学生活を楽しむ!!
23才	大人 企業で2年間の実務経験をする
25才	大人 一級建築士の資格に合格する
26才	大人 建築事務所で働く。有名になっていく
29才	大人 初めて自分が建築した建物が表彰される
30才	大人 仕事とプライベートを充実させている。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
 ◎バレエを続ける ◎結婚して子どもを産む
 ◎日本&世界中を旅行する ◎本を読む

*こちらは、小学生「夢をかなえる」作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

前を向いて

大阪教育大学附属天王寺小学校 五年 栗村 麻央

私の将来の夢は、建築士だ。理由は、建物に興味を持ったのと、小さいころから私が住む大阪が誇る世界的に有名な建築家の安藤忠雄さんにあこがれたからである。

街を歩くと、色々な建物などが目に入る。私は、この建物はなぜこの形なのか? すごく素敵だと思う。また、同じ建物でも季節や時間によって見え方がちがっておもしろい。

でも、そのことにどのぐらいの人達が気付いているのか。残念ながら、気付いている人は少ないと思う。なぜなら、多くの人達が携帯を触りながら下を向いて歩いているから。私は、そのような人達をもつたいたい、前を向いて歩いてほしいと思うときがある。

しかし、普段何も気付かず下を向いて歩いている人達も旅行先や街中にある有名な建物になると、急に前を向いてそれ

らを見て感銘を受けたり、撮影している。撮影の時はその前でしっかりポーズまでしている。中には、わざわざそこに行く人達もいる。その姿はすごく不思議だ。きっと建物にはそれほどの魅力があるというのだと思う。

建物には、昔ながらのものと現代的で近代的な建物がある。どちらも大切な存在だ。昔ながらの建物は、伝統を大切にしている。今では作れないような作りやどこか心が懐かしくなるもの、昔の人達はどうやって作ったのか、このままこの建物は残ってほしいなど昔ながらの良さがたくさん含まれている。逆に新しい建物は、環境などの現代の問題を考えたりくりや、見た目や過ごしやすさを重視したものなど色々な面を考えたり、過去や未来を意識したデザインなどがある。どちらも作る側とその建物を利用する側の何かしらの意味や想いがあると思う。

私は両者のその意味と想いがまった建物を作りたい。そして、昔ながらの建物も大切にしたいので、昔と今、未来がつながる建物を作り、人々が前を向いて歩く街並みづくりをしたい。

そのためには、日本や世界中の建物、街並みを見る必要がある。もちろん、自分が住んでいる日本の文化、歴史なども必要だ。

私の憧れの安藤忠雄さんも若い時に世界中を旅して、旅先でインスピレーションを得たり、影響を受けたりされたそう。今も安藤忠雄さんは日本だけではなく、世界中でも仕事をしている。いつまでも大阪魂をずっともち、ぶれない安藤忠雄さんは本当にすごくかっこいい。

私の人生はこれからだ。私も自分の夢に向かって、自分をおれずにしっかりと前を向いて歩いていきたい。もちろん生まれ育った大好きな大阪魂を忘れずに。